



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 不二サッシ株式会社

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 英久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総合企画部長 (氏名) 濱高 和長

TEL 03-6867-0777

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	58,680	△4.4	607	74.1	365	—	21	—
28年3月期第3四半期	61,372	△2.0	348	△66.2	△6	—	△255	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 406百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △165百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.17	—
28年3月期第3四半期	△2.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
29年3月期第3四半期	89,227		12,728		14.1	99.78		
28年3月期	83,217		12,449		14.8	97.51		

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 12,591百万円 28年3月期 12,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	△0.7	2,600	△0.1	2,400	7.5	1,400	9.7	11.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	126,267,824 株	28年3月期	126,267,824 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	74,497 株	28年3月期	71,263 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	126,195,047 株	28年3月期3Q	126,197,648 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向にあるものの、非木造建築着工床面積は低調に推移しており、先行きは不透明な状況になっています。一方、形材外販事業においては、アルミ地金市況および為替変動に伴う影響があるものの、国内での物量回復等により良化傾向にあります。環境事業においては、受注が伸びており、概ね計画通りに推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画『躍進』(2014年度～2016年度)を策定し、「バリューイノベーションの実現」「強靱な事業システムの構築」「成長分野の強化」「新分野への挑戦」を基本戦略とし、グループ全社一丸となって計画の達成に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高586億8千万円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益6億7百万円(前年同四半期比2億5千8百万円増)、経常利益3億6千5百万円(前年同四半期は経常損失6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2千1百万円(前年同四半期は2億5千5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)と黒字になりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

## 〔建材事業〕

建材事業においては、営業プロセスの徹底した効率化を推進するとともに、短納期物件等の取り込みに注力しましたが、リニューアル事業で工事遅延があったことなどから、売上高は397億8千3百万円(前年同四半期比2.4%減)、セグメント利益8億9千5百万円(前年同四半期比5億8千3百万円減)と減収減益になりました。

## 〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、海外での事業縮小やアルミ地金市況および為替変動により、売上高151億9千4百万円(前年同四半期比4.8%減)と減収になりましたが、国内での物量増加やコスト削減に注力したことなどから、セグメント利益5億2千5百万円(前年同四半期はセグメント損失2億9千5百万円)と黒字転換しました。

## 〔環境事業〕

環境事業においては、プラント部門は工期の長い物件が多く、当第3四半期連結累計期間の完了工事が少なかったことなどから、売上高は23億6千1百万円(前年同四半期比27.8%減)になりましたが、営業プロセスの効率化の推進などにより、セグメント利益8千5百万円(前年同四半期はセグメント損失2千6百万円)と黒字転換しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は566億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億1百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億2千1百万円、仕掛品が87億7千4百万円増加し、受取手形及び売掛金が32億2千9百万円、原材料及び貯蔵品が6億1千3百万円減少したことによるものであります。固定資産は325億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が7億9千3百万円、投資その他の資産が2億円増加したことによるものであります。この結果、総資産は892億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億9百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は530億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億5千9百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6億7千万円、前受金が71億7千3百万円増加し、短期借入金が8億1千8百万円、その他流動負債が18億7千3百万円減少したことによるものであります。固定負債は234億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金6億2千3百万円、退職給付に係る負債が2億2千万円増加し、社債が2億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、764億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億3千万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は127億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千9百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1億4百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億3千7百万円、退職給付に係る調整累計額が1億9千4百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は14.1%（前連結会計年度末は14.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、平成28年5月12日の「平成28年3月期決算短信」で公表しました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,314	13,436
受取手形及び売掛金	18,837	15,607
商品及び製品	1,287	1,093
仕掛品	12,774	21,548
原材料及び貯蔵品	3,115	2,501
販売用不動産	221	229
繰延税金資産	142	157
その他	2,594	2,708
貸倒引当金	△609	△602
流動資産合計	51,679	56,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,918	37,429
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,725	△29,968
建物及び構築物(純額)	7,192	7,460
機械装置及び運搬具	42,664	42,776
減価償却累計額及び減損損失累計額	△39,224	△38,540
機械装置及び運搬具(純額)	3,440	4,236
土地	13,400	13,396
リース資産	2,125	2,252
減価償却累計額	△483	△659
リース資産(純額)	1,642	1,592
建設仮勘定	334	120
その他	12,600	12,552
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,695	△11,649
その他(純額)	904	903
有形固定資産合計	26,916	27,709
無形固定資産		
その他	140	154
無形固定資産合計	140	154
投資その他の資産		
投資有価証券	2,458	2,675
長期貸付金	30	29
繰延税金資産	396	390
その他	2,732	2,712
貸倒引当金	△1,137	△1,125
投資その他の資産合計	4,481	4,681
固定資産合計	31,538	32,546
資産合計	83,217	89,227

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,365	18,035
短期借入金	12,785	11,966
1年内償還予定の社債	2,700	2,700
リース債務	257	258
未払法人税等	336	298
前受金	8,743	15,916
工事損失引当金	274	319
その他	5,420	3,547
流動負債合計	47,882	53,041
固定負債		
社債	1,200	1,000
長期借入金	4,681	5,304
リース債務	1,528	1,477
繰延税金負債	32	73
再評価に係る繰延税金負債	417	417
退職給付に係る負債	14,171	14,392
資産除去債務	286	290
その他	567	500
固定負債合計	22,885	23,456
負債合計	70,767	76,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	814	815
利益剰余金	10,255	10,150
自己株式	△9	△9
株主資本合計	12,769	12,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	725
土地再評価差額金	1,501	1,501
為替換算調整勘定	△402	△346
退職給付に係る調整累計額	△2,150	△1,955
その他の包括利益累計額合計	△463	△75
非支配株主持分	143	137
純資産合計	12,449	12,728
負債純資産合計	83,217	89,227

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	61,372	58,680
売上原価	51,970	48,410
売上総利益	9,402	10,269
販売費及び一般管理費	9,053	9,662
営業利益	348	607
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	44	53
受取保険金	3	1
受取賃貸料	20	21
持分法による投資利益	—	11
電力販売収益	42	99
その他	47	59
営業外収益合計	170	259
営業外費用		
支払利息	319	272
手形売却損	13	10
持分法による投資損失	4	—
電力販売費用	33	61
その他	155	156
営業外費用合計	525	500
経常利益又は経常損失(△)	△6	365
特別利益		
固定資産売却益	3	14
補助金収入	—	14
その他	—	2
特別利益合計	3	30
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	22
その他	—	2
特別損失合計	3	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6	370
法人税等	248	343
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△255	27
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△255	21

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△255	27
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	137
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△119	46
退職給付に係る調整額	86	194
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	89	379
四半期包括利益	△165	406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△150	410
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	40,768	15,962	3,268	59,999	1,372	61,372
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7	5,762	—	5,770	1,743	7,514
計	40,776	21,725	3,268	65,770	3,116	68,886
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	1,478	△295	△26	1,156	99	1,255

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,156
「その他」の区分の利益	99
セグメント間取引消去	100
全社費用(注)	△1,007
四半期連結損益計算書の営業利益	348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	39,783	15,194	2,361	57,338	1,341	58,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	5,195	—	5,210	1,765	6,975
計	39,797	20,390	2,361	62,549	3,106	65,656
セグメント利益	895	525	85	1,506	71	1,578

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,506
「その他」の区分の利益	71
セグメント間取引消去	87
全社費用(注)	△1,058
四半期連結損益計算書の営業利益	607

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。